

# 超臨界流体クロマトグラフィー

近年、カラムテクノロジーの進歩により、液体と比較して低粘性・高拡散性などの特性を持つ超臨界流体を移動相として用いる超臨界流体クロマトグラフィー（SFC）が注目されています。HPLCとは異なる保持挙動が新しい分離選択性を提供し、更に超臨界流体の高い浸透性と拡散性は、HPLCに比べピーク形状や分離を改善します。本セミナーではSFCの特性や活用事例等についてご紹介いたします。

**日時**

令和6年11月19日(火) 10:00~11:00(60分)

**場所**研究基盤統括センター セミナー室  
(理系複合棟321室)**講師**九州大学 生体防御医学研究所  
馬場 健史 教授**申込み**

参加費：無料 対象：学内、学外

事前に情報の登録が必要となるため、参加をご希望の方はQRコードを読み取るか、

下記URL：<https://forms.office.com/r/xbFaP9ax6Y>  
より申し込みをお願いいたします。

申込締め切り：11月18日(月)

**問合せ先**

琉球大学 研究基盤統括センター

担当：儀間

Mail：[rfa-ans@acs.u-ryukyu.ac.jp](mailto:rfa-ans@acs.u-ryukyu.ac.jp)